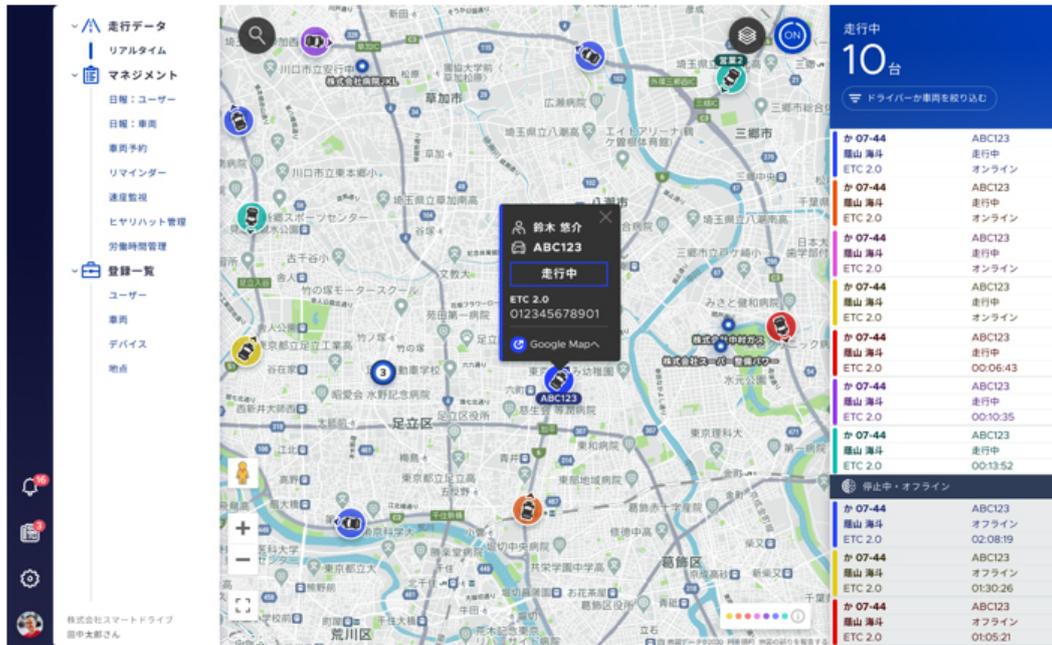


スマートドライブとパナソニックが物流車両を利用する 企業向け運行管理の実証サービス「ETC2.0 Fleetサービス」を開始

～社数限定で、キャンペーン価格でのトライアル企業を募集～



「ETC2.0 Fleet サービス」のイメージ図

株式会社スマートドライブ(本社所在地:東京都千代田区、代表取締役:北川 烈、以下「スマートドライブ」)は、パナソニック株式会社(本社所在地:大阪府門真市、代表取締役 社長執行役員:楠見 雄規、以下、「パナソニック」)との共同事業として、物流車両を利用する企業向けにETC2.0システムを活用した運行管理サービスである「ETC2.0 Fleetサービス」を2021年9月7日より提供開始します。今回は、社数限定の実証サービスとしてキャンペーン価格での提供とし、同日より申し込み受付を開始します。現在利用中のETC2.0車載器を活用して手軽に運行管理を可能とすることで、業務効率化が課題となっている物流業界への貢献を目指します。

【実証サービス「ETC2.0 Fleetサービス」の概要】

(1) 背景

物流業界では、貨物量の急増・高齢化などによるドライバー不足が深刻化する中、2024年4月には労働基準法の年間残業時間規制がスタートするなど、労働環境や労働条件を改善し、働き方改革の実現に向けた取り組みが推進されています。しかしながら、実際の業務においては車両を厳密に管理するには手間もかかり、運送事業者には大きな負荷がかかっています。業務効率化のために各種運行管理サービスも広がっていますが、新たな専用のデバイスが必要となることも多く、すべての車両に導入するには運行管理コストが高くなることもあるため、運送事業者にとって大きな悩みのひとつとなっています。

そこで、スマートドライブとパナソニックは、ETC2.0車載器を搭載した車両であれば利用可能な運行管理サービスの実現に向けた共同実証を2021年6月から開始しました。既に普及しているETC2.0車載器を活用することで、導入時に新たな専用デバイスを購入するためのコストがかからない、運行管理サービスの実現を目指しています。

(2) 内容

「ETC2.0 Fleetサービス」は、ETC2.0車載器に備わっている乗用車の経路情報や急ブレーキを把握する機能と、高速道路・直轄国道合わせて約4,100基ある路側機を連携させて行うサービスです。運行管理の実施により、車の稼働状況や業務状況の可視化を行うことが可能となり、走行履歴も見える化されるため、複数のドライバーの走行ルートを把握することで、配車を最適化するなどドライバーの業務効率化も図れます。運行管理業務のデジタル化は、保有車両の台数や形態が適切かを見極めることにもつながり、保有車両台数の削減や配車最適化による業務効率の改善も期待できます。ドライバーにとっても、運転日報の作成を補助する機能により記入の抜け漏れを防ぐことができるなどのメリットがあります。

(3) 特長

[1] ETC2.0システムの活用により、新たな専用デバイスが不要

ご利用中のETC2.0車載器からデータを取得するため、一般的な運行管理サービスとは異なり、新たな専用デバイスをご用意いただく必要が無く、ご利用初期の設定や費用のご負担が軽くなります。また、本サービスは、国が公共データとして収集した車両の位置情報を民間活用するため、車両位置情報を使った運行管理を低コストで運用することが可能となります。

[2] 分かりやすい管理・操作画面で初めてのご利用でも安心

全国で600社以上のお客様の声をもとに進化してきたユーザーインターフェースを採用。初めてご利用になる方にも負担の少ない管理・操作画面になっています。運転日報の作成補助、走行履歴も一目で把握できます。

[3] 働き方改革関連法の強化に対応したかんたん業務管理

多忙な業務に追われる時でも、簡単にドライバーの業務拘束時間の累計を把握して、働き方改革の推進をサポートします。特に、労働基準法の年間残業時間規制が2024年から導入されるにあたり、月293時間の上限に対して一目で拘束時間累計を把握できるようになることで、業務管理の効率化が可能になります。

(4) 実証サービス参加企業の募集について

ご希望のお客様に対して、導入時における必要事項やご留意事項などのご説明を個別に行っています。今回の実証サービスは、高速道路を使った移動が多い業種業態でのご利用を想定しています。センター間輸送、長距離配送、高速バス、サービスエリアへの配送(お弁当、お土産など)、高速道路のメンテナンスなどの事業を展開されている事業者様のご利用におすすめです。また、現在ETC2.0車載器をお持ちでないお客様でも期間中、ETC2.0車載器のリース利用によって本サービス利用が可能です。

ご興味のある方は、以下のウェブサイトアクセスしてご希望のお時間をご選択いただき、『ご要望・ご質問があればご記載ください』欄に「ETC2.0」とご記載のうえご予約ください。

今回の募集は2021年12月末で締め切りとさせていただきますが、社数限定の実証サービスとなりますので、ご興味のある方はお早めにお問合せください。

URL:<https://lp.smartdrive-fleet.jp/FreeDEMO-Form.html>

【「ETC2.0 Fleetサービス」の主な機能】

1. 車両の位置把握

路側機を通過した時の最新車両位置を把握※することができます。渋滞情報も分かり到着時刻の想定が可能となり、荷待ち時間の削減にもつながります。



車両の位置と状態を地図上に表示

2. 安全運転管理

急ブレーキをかけた地点を表示することで危険な場所の把握やドライバー毎に最適な安全運転の指導にご活用いただけます。



地図上に急ブレーキをかけたポイントを表示

3. 運転日報の作成補助

過去の走行履歴も把握可能となり、手書きでの日報作成の抜け漏れを防ぎます。

| 2021-06-01 | | | | 総走行距離 | 総走行時間 | 総停車時間 | 急減速回数 | | |
|--------------|---------|--------------------|------------|-----------|----------|---------|-----------------|--------|-----------------|
| 車両名: XYZ-001 | | | | 36 km | 1.3 時間 | 10.3 時間 | 22 回 | | |
| 走行情報 | | | | | | | | | |
| 走行履歴 | | | | | | | | | |
| 走行開始日時 | ユーザー名 | 車両名 | 総走行距離 (km) | 総走行時間 (h) | 停車時間 (h) | 急減速回数 | | | |
| 2021-06-01 | ユーザーABC | K-03 1601 (ETC2.0) | 36.5 | 1.3 | 10.3 | 22 | | | |
| 走行履歴 (詳細) | | | | | | | | | |
| 走行日 | 曜日 | イベント | 開始時間 | 終了時間 | 継続時間 | 出発住所 | 出発地点Map | 到着住所 | 到着地点Map |
| 2021-06-01 | 火 | 走行 | 07:58 | 08:16 | 18 | XX県YY市 | GoogleMapで見る... | ZZ県A市 | GoogleMapで見る... |
| 2021-06-01 | 火 | 停車 | 08:16 | 12:17 | 241 | ZZ県A市 | GoogleMapで見る... | ◎ | ◎ |
| 2021-06-01 | 火 | 走行 | 12:17 | 12:24 | 7 | ZZ県A市 | GoogleMapで見る... | XX県YY市 | GoogleMapで見る... |
| 2021-06-01 | 火 | 停車 | 12:24 | 13:05 | 41 | XX県YY市 | GoogleMapで見る... | ◎ | ◎ |
| 2021-06-01 | 火 | 走行 | 13:05 | 13:24 | 18 | XX県YY市 | GoogleMapで見る... | MM県N市 | GoogleMapで見る... |

過去の日ごとの走行履歴も一覧で確認可能

4. ドライバーの拘束時間管理

月間の拘束時間累計が上限(293時間)に近づくと注意喚起します。



拘束時間累計の上限に近づくドライバーが出るとアラートで表示

5. 運行履歴管理

過去の走行ルートや速度も分かりやすく表示。ドライバーの管理や配車計画の検討にも役立ちます。



地図上に速度レンジを色分けして表示

尚、上記各機能の画面はイメージで、変更する可能性があります。

Google、GoogleMap、Googleストリートビューおよびその他の関連するマークとロゴはGoogle LLC の商標です。

※車両位置や渋滞情報の更新にはタイムラグが発生するため、リアルタイムを保証するものではありません。

【ご留意事項】

路側機は高速道路と一部の直轄国道に設置されているため、通常業務において一般道のみをご利用されるお客様はデータの取得が難しいことがあります。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。